

第12回オール早稲田文化週間企画

講演会 & 写真展 わせじょ 「ワセ女は彼女たちから始まった」開催報告

男女共同参画推進室主催、女性研究者支援総合研究所・ジェンダー研究所共催による教育・研修事業の一環として、2009年10月19日に、本学小野記念講堂において、講演会&写真展「ワセ女は彼女たちから始まった」を開催しました。また、講演会については、本学教育・総合科学学術院の湯川次義教授による「女性への大学教育機会の開放：早稲田大学の場合」という演題で行われました。

さて、今回の講演会&写真展の開催趣旨は、本学における女性教育の歴史を学んでいただきながら、現在、そして将来における男女共同参画のあり方をご来場の皆様と一緒に考える機会とすることになりました。授業実施期間中の月曜4限という忙しい時間帯にもかかわらず、多くの学生、教職員の皆様が参加してくださいました。中には、新聞に掲載された行事案内をご覧になって来場された一般の方もいらっしゃいました。

浅倉むつ子男女共同参画推進室長の挨拶と推進室の概要説明に続き、1時間におよぶ湯川次義教授の講演に、ご来場の皆様は熱心に耳を傾けてくださいました。講演後の質疑応答でも、多くの質問が寄せられました。最後は、棚村政行女性研究者支援総合研究所長の閉会の辞で幕となりました。

ご来場の皆様からは、「早稲田大学における女子学生への門戸開放の歴史を初めて知り、今現在、当りにキャンパスに存在する女子学生と当時の女子学生に思いを馳せ、将来の課題について深く考える機会となった。」といった内容の声が多く寄せられました。

同時開催したロビー内での写真展では、創設者大隈重信の女子教育に対する信条から始まり、戦前、戦中、戦後の女子学生の様子ならびに女性教育史の解説を写真と共に展示し、ご来場の皆様は、熱心にご覧になっていらっしゃいました。

なお、当日の講演会の様子は、DVD収録(約1時間半)しましたので、ご希望があれば西早稲田キャンパスのワークライフバランス・サポートセンターで視聴することができます。



—講演会の様子—



—写真展の様子—